



第4回 ドッジビーフェスタ
in 成蹊学園

実施報告書

平成31年1月25日



日本ドッジビー協会

【大会概要】

名称	第4回 ドッチビーフェスタ in 成蹊学園
日時	2018年(平成30年)12月22日(土曜日)10:00~16:30
場所	成蹊学園 大学・大体育館／小体育館 〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
主催	一般社団法人日本ドッチビー協会
後援	武蔵野市教育委員会
協力	成蹊学園 株式会社バンダイナムコエンターテインメント
協賛	京王電鉄株式会社 文化シャッター株式会社 東京キリンビバレッジサービス株式会社 ワタミ株式会社

【参加チーム】

- 全18チーム / 72名 ※別紙、参加チーム一覧表を参照ください。
・4人1組での受付を基本として募集。(ファミリーでのご参加を歓迎・推奨)

【参加費用】

参加料 1チーム(4人合計)一式 = @6,000円(税込)

【タイムスケジュール】

※別紙、タイムスケジュール表を参照ください。

【実施プログラム概要】

1) ドッチビー・オニごっこ / 2) 投上げ拍手

・アソビ兼基礎的な練習となる準備運動アイテムを全参加者一斉で実施。

3) ドッチビーサーキット

- ① ドッチビー・ディスゲッター9 ~ (正確に強く、投げる)
- ② ドッチビー・キャッチ ~ (落とさないように、捕る)
- ③ ドッチビー・ドッジ ~ (当たらないように、かわす)
- ④ ドッチビー・パス ~ (正確に捕り易く、投げる)

・上記①~④を各組毎に巡回形式でおこないました。

- 4) **ドッジディスタンス** ~ 本イベント独自規定を採用して実施。
 横幅制限20メートル / ひとり3投中、最も飛距離が出た1投を計測。
- 5) **ディスクドッジ** ~ 本イベント独自の規定を採用して実施。
 ディスク / ドッジビーミカサモデル250を使用。
 フィールド / 16×8メートルの特設コート。
 人数・時間 / 試合は8名、開始時の外野は3名に規定。1試合は5分1本通し。
- 6) **サークルドッジ** ~ 本イベントで初めてDBJA主催でおこなうNEWゲーム。
 ディスク / バンダイナムコオリジナル・ドッジビー270を使用。
 フィールド / 7メートルの円形フィールド。
 人数・時間 / 試合は4名。1試合は前・後半各2分、ハーフタイム1分
- 5) 6) 共通対戦形式
 参加18チームを ➡ 2チームをひとつに即席で統合した9チームに編制。
 9チームは3チーム×3リーグに分かれて予選1次リーグを対戦。
 1次リーグの1位、2位3位それぞれに分かれた2次リーグで順位を決定。

【表彰】

プログラム4)~6)をポイント化して集計、参加チームの全順位を決定。
 表彰は 1位(総合優勝) / 4位(4回大会にて) / 18位(2018年にて)
 および、4)ディスタンス優勝 / 5)ディスクドッジ優勝 / 6)サークルドッジ優勝

【付帯イベント・コーナー】

- **指導者資格(キッズリーダー)講習会を同時に実施。**
 場所 : 大学小体育館
 時間 : 11:00 ~ 13:00
 費用 : @2,000円 (キッズリーダー証発行料@500円含む)
- **「ゴールドドッジ」のシミュレーション・ゲーム体験**
 昼の一斉休憩時間帯にスタッフチーム vs 希望参加者による体験ゲームを実施。
- **ドッジビーグッズ・アウトレット販売コーナー**
 協会が所有するデッドストック備品や過去、大会で作成した参加賞など特価放出!
- **ドッジビーメーカーが【直販コーナー】を設置**

【講評】

年の瀬、12月22日土曜日に武蔵野市に広大なキャンパスを構える成蹊学園内の施設をお借りして開催しましたドッジビーフェスタin成蹊学園は2013年の秋、「東京国体のデモスポ行事ドッジビー調布大会」に成蹊小学校チームが出場し、翌2014年には小学校正課のクラブが発足したことで学校関係者様から日本ドッジビー協会DBJAに指導について



ご相談をいただき、様々な会話の中でイベント開催会場としての使用許可を頂戴したことが発端で2015年より開催してきましたが4回目となる、今回は大学体育館をメイン会場に主催者としての初心に戻り、【講習】と【体験】を中心に据え、初心者層の方々へ向けた内容へと一新しました。



さらに主催行事としては過去に例のない施策も盛り込むことで、全体としてフェスタ感の演出を



意識の上実施しましたので、それらを中心に報告いたします。

まずは開会式でスポンサーである京王電鉄のキャラクター、けい太くんが登場!!! 着ぐるみは子どもたちにとって理屈なく、興味を惹かれる様子で、前後左右から、人だかり状態でした。



朝一のプログラムは準備体操も兼ねた投上げとオニゴッコ。とても単純なだけに誰もが楽しそうな笑顔でしたが、特に大人が楽しそうに逃げ回っていたり、DBJAスタッフが楽しそうにぶつけていたり! 印象的な光景でした。





次のサーキットは開会式で全員にパネルで説明、ひとりあたり2ラウンドをおこない、引き続きドッチダンスで午前のプログラムは終了の予定でしたが・・・サーキットからディスタンス終了までに想定以上に時間がかかったこと、さらにはチーム毎の成績集計の作業も想定以上の労力でスムーズな移行ができないなどの大きな誤算がダブルで発生。



これ以降、タイムスケジュールが約40分押しとなり、最後までリカバリーできず、主催イベントで初の40分遅延という恥ずかしい結果と、大きな運営上の反省点を残す事態となりました。

ここまで午前中の時間帯にメイン会場のすぐ隣に位置する大学小体育館ではキッズリーダー講習会が同時進行で実施されました。こちらは事前申込みで7名の方、当日参加で7名の方、合計14名の受講者に対して、DBJAより専任2名の講師によって、余すところなく充実した講習が予定通り進行、メイン会場と対症的なスムーズな進行でした。



アウトレットコーナーとメーカー販売コーナーも参加者数が決して多くはないながらも盛況でした。



午後からは、4人1組で申し込んだ全18チームを主催者が選択した2チームが統合した1チームとして即席で9チームを編制して団体戦2種目に参加いただきました。

2種目とも対戦形式は同様でまず、9チームをアミダ抽選で3チーム×3リーグに分け1次(予選)リーグを実施。1次リーグの結果順位別(1次リーグの各1位/2位/3位)の2次リーグ戦の結果で、全チームの順位を決定しました。<詳細は※別紙、結果表を参照ください>

最初の種目は皆さんおなじみのディスクドッジ、少し狭いコートで、250ディスクを使用しましたが、何ら不都合なこともなさそうにプレーしていました。

そして、最後の種目となるサークルドッジは誰もが初体験、全員にルール説明の後、3コートで対戦を開始。特に戸惑うこともなく、すぐにプレーができる皆さんの適応力には感心させられました。



全体を通して、参加者の皆さんはどのプログラムも笑顔で、楽しそうに参加していた姿がとても嬉しく、感じました。

特に午後の即席チームについては・・・組合せ次第では？楽しめないのでは？といった心配や不安がありました。一緒になったチームのおとなと小学生が記念撮影をしている姿を見ることができました。

主催者として意図したことが自然に伝わった実感を味わうことができました。

参加者の皆様に心より御礼いたします。



参加者が喜ぶ参加賞ならびに表彰副賞をはじめ、多大なるご理解・ご協力を頂戴いたしましたスポンサー様にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。





大きな事故なく、今回も無事に大会を終了できましたこと、関係各位に厚く御礼申し上げます。
ありがとうございました。



一般社団法人日本ドッジビー協会

101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

TEL : 03-3264-3626

FAX : 03-3264-3627

Mail : support@dbja.jp

